

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-67902

(43) 公開日 平成7年(1995)3月14日

(51) Int.Cl.[°]

A 6 1 F 5/41

識別記号

庁内整理番号

7108-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-243942

(22) 出願日 平成5年(1993)9月2日

(71) 出願人 393022919

株式会社東栄商事

東京都品川区東五反田1丁目9番4号

(72) 発明者 松川 定男

東京都品川区東五反田1丁目9番4号

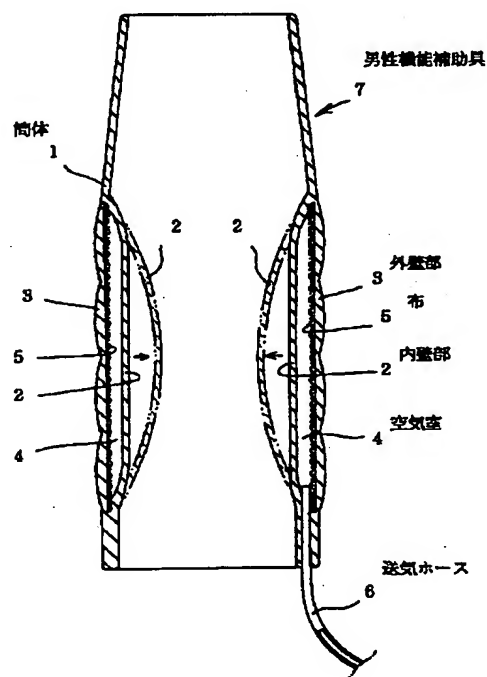
(74) 代理人 弁理士 杉山 泰三

(54) 【発明の名称】 男性機能補助具

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 外面部に硬い部位を設ける必要がなく、しかも外面部の形状は原形を保持しながら使用できる斬新な男性機能補助具の提供する。

【構成】 内部に男性陰茎を挿入可能な弾性材から成る筒体1の側壁に略同一の肉厚と柔軟性を有する内壁部2と外壁部3で密閉された円周方向の空気室4を設け、当該空気室4に外部から空気を送り込んでその内壁部2を内側方向へ向って膨出させることにより陰茎を締め付け可能にすると共に、空気室4の外壁部3の内面部にその外壁部3の伸びを抑えて外壁部3の外側方向への膨出を阻止する布5を重ね合せたことを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 内部に男性の陰茎を挿入可能な弾性材から成る筒体 1 の側壁に略同一の肉厚と柔軟性を有する内壁部 2 と外壁部 3 で密閉された円周方向の空気室 4 を設け、当該空気室 4 に外部から空気を送り込んでその内壁部 2 を内側方向へ向って膨出させることにより陰茎を締め付け可能にすると共に、空気室 4 の外壁部 3 の内面部にその外壁部 3 の伸びを抑えて外壁部 3 の外側方向への膨出を阻止する布 5 を重ね合せたことを特徴とする男性機能補助具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、男性の陰茎に装着して使用する男性機能補助具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の男性機能補助具として、特公平 2-37180 号公報に記載されたものが公知である。これは、男性陰茎を装着し得る柔軟な弾性材をもって円筒体を形成し、この円筒体の肉厚部に周回状の空気室を設け、この空気室に逆止弁付きの送気ホースを連通させると共に、空気室の円筒体外周側に硬い保型壁を形成し、男性陰茎に装着した後で空気室内に空気を送気させたときに円筒体の外周部が保型壁の作用で原形状を保持しつつ内周部が膨化して陰茎の基部を圧迫するようになし、この圧迫により陰茎を膨充化させて勃起不全や早漏等の肉体の欠陥を持った男性の機能を補助できるようにしたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記の公知例は、空気室の円筒体外周側に空気室の男性陰茎装着側の壁面よりも硬い保型壁を形成することによって、男性陰茎に装着した後で空気室内に空気を送気させたときに円筒体の外周部が原形状を保持するようになっているが、このように硬い保型壁を設けることは、材質の異なる複数の材料を使用したり、肉厚に差を設けたりする必要があるもので、成形が面倒であるという問題がある。また、硬い保型壁は、触感が悪く、更に、柔軟性に欠けて変形が容易でないので装着するときなどに扱いにくいという問題もある。そこで本発明は、このような問題を解決するために、外面部に硬い部位を設ける必要がなく、しかも外面部の形状は原形を保持しながら使用できるという斬新な男性機能補助具の提供を目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明の男性機能補助具は、内部に男性陰茎を挿入可能な弾性材から成る筒体 1 の側壁に略同一の肉厚と柔軟性を有する内壁部 2 と外壁部 3 で密閉された円周方向の空気室 4 を設け、当該空気室 4 に外部から空気を送り込んでその内壁部 2 を内側方向へ向って膨出させることにより陰茎を締め付け可能にすると共に、空気室 4 の外

2

壁部 3 の内面部にその外壁部 3 の伸びを抑えて外壁部 3 の外側方向への膨出を阻止する布 5 を重ね合せたことを特徴とするものである。

【0005】

【作用】 本発明の男性機能補助具は、男性と女性が性的に交わるときに、男性の陰茎に装着して使用するものであり、すなわち、陰茎を筒体 1 に挿入して、その亀頭部を筒体 1 の先端口から露出させた状態に装着し、その後、空気室 4 に外部から空気を送り込んで、空気室 4 の内壁部 2 を内側方向へ膨出させて陰茎を締め付けさせることにより、陰茎を圧迫して陰茎内の血液を停充して陰茎を硬化させ完全な勃起状態に至らしめるものである。そして、空気室 4 に空気を送り込んだとき、空気室 4 の内壁部 2 は上記のように内側へ向って膨出するが、空気室 4 の外壁部 3 は、その内面部に重ね合わせた布 5 によって伸びを抑えられるので、外側へ向って膨出することができず、外面部の形状は原形を保つことになる。従って、外面部の形状を原形のまま保持するために、外壁部 3 自体の肉厚を大きくしたり硬くする必要はない。

【0006】

【実施例】 図は本発明の一実施例の男性機能補助具 7 を示したものであり、以下これについて詳説する。この男性機能補助具 7 は、筒体 1 と、この筒体 1 に接続した送気ホース 6 とから成り、送気ホース 6 の先端には空気ポンプが脱着自在である。筒体 1 は全体が同一の柔軟なゴム製で、略上半部が円錐台形で、その下部が略真直な円筒形となっていて、その下部の円筒形部位は二重壁構造で内壁部 2 と外壁部 3 とを有し、その間が密閉された空気室 4 となっており、この空気室 4 に上記の送気ホース 6 が連通されている。そして、空気室 4 の内壁部 2 と外壁部 3 は肉厚が略同一で、硬さも略同一となっていて、外壁部 3 の内面部には薄くて強く且つ柔軟な材質の布 5 が重ね合されて接着されている。

【0007】 筒体 1 を陰茎に装着して、送気ホース 6 の先端に取付けた空気ポンプ（図示せず）により空気室 4 に空気を送り込むと、空気室 4 が膨張して、その内壁部 2 が内側に向って膨出することにより、筒体 1 に挿入した陰茎を締め付けて圧迫することになる。このとき、空気室 4 の外壁部 3 は布 5 によって伸びが抑えられて外側へ膨出することがなく、外面形状は原形が保持されることになる。尚、使用時は空気ポンプを送気ホース 6 から取り外すが、送気ホース 6 には逆止弁（図示せず）が付いていて空気の漏れを防止する。

【0008】

【発明の効果】 本発明は上記の通りであり、男性の陰茎を補助してその機能を完全に発揮せしめて円満な夫婦生活の営みを可能にするのは勿論であるが、本発明は特に空気室 4 の外壁部 3 の内面部に布 5 を重ね合わせることで、より外面形状が原形を保つようにしたので、従来例の如く硬い保型壁を設ける必要がなく、空気室 4 の内壁部 2

3

と外壁部3とに略同一な肉厚と柔軟性を有する弾性材を用いることができ、成形が容易化し、又、筒体1に硬い部位が存在せず全体を適宜な柔らかさにすることができるので、触感が良く、更に装着するときなどに曲げ等の変形が容易で取扱いやすい等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】中央部の縦断面図である。

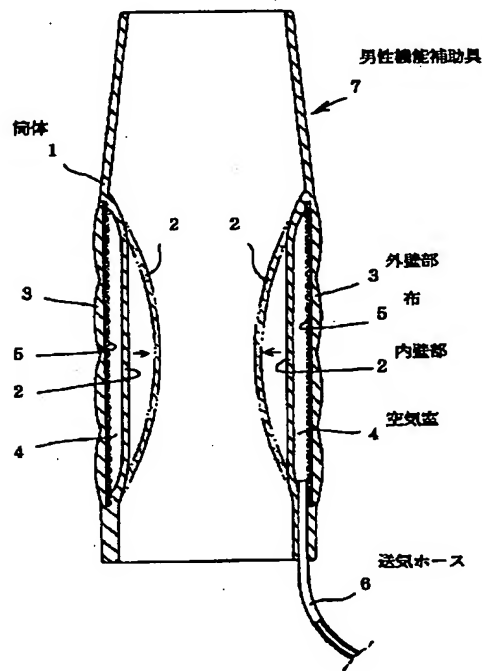
【図2】空気室の位置における横断面図である。

* 【符号の説明】

- 1 筒体
- 2 内壁部
- 3 外壁部
- 4 空気室
- 5 布
- 6 送気ホース
- 7 男性機能補助具

4

【図1】



【図2】

